18

ウロボロス

ouroboros

警察ヲ裁クハ我ニアリ

神崎裕也

Yûya Kanzaki

新潮社

ouroboros
Yūya Kanzaki

ouroboros

CAST&STORY

名前：日比野 美月
NAME：HIBINO MIDUKI
所属：警視庁警務部 監察課
階級：警部補

名前：段野 竜哉
NAME：DANNO TATSUYA
所属：我孫子会系
二次団体 段野組
身分：組長

名前：龍崎 イクオ
NAME：RYUZAKI IKUO
所属：警視庁警務部 監察課
階級：巡査部長

ouroboros

名前：田村 小夏
NAME：TAMURA KONATSU
所属：警視庁警務部 監察課
階級：警部補

名前：那智 聡介
NAME：NACHI SOUSUKE
職業：フリーライター

名前：日比野 圀彦
NAME：HIBINO KUNIHIKO
所属：警視庁警務部 監察課
階級：警視長
役職：首席監察官

ouroboros

ouroboros

CAST&STORY

通称：金時計の男
NAME：GOLD WATCH
NO DATA

名前：聖 由起人
NAME：HIJIRI YUKITO
元警視庁副総監

名前：蝶野 真一
NAME：CHONO SHINICHI
所属：不明
階級：不明

STORY

児童養護施設「まほろば」で育った龍崎イクオと段野竜哉。ふたりには壮絶な過去があった。幼い頃、育ての親であり最愛の人だった柏葉結子を何者かに殺され、事件そのものを警察に隠蔽されたのだ。復讐を誓ったふたりは事件の真相を掴むため、表と裏の道へと進む。イクオは刑事に、竜哉は極道に――。

新宿第二署刑事課、警視庁捜査一課を経て、警務部監察課に異動となったイクオは、徐々に相棒の女刑事・日比野美月に惹かれていた。一方、竜哉は着々と極道の世界でのし上がる。そんな中、聖隊による裏カジノ船一斉摘発の騒動により、竜哉は生死不明、イクオも意識不明の状態となってしまう。

イクオ不在の中、美月はネックレスのICチップの暗号を解くため、那智聡介と接触。チップの中には、「まほろば」にいた子供たちの詳細なデータ…そして、美月の父である日比野首席監察官の写真が!! 那智は日比野監察官が〝金時計の男〟だと確信する。彼もまた「まほろば」の出身者であり、17年前に行方不明になった妹の行方を〝金時計の男〟から聞き出すために動いていたのだった。突然、態度を豹変させ美月を誘拐する那智。

病室で眠るイクオの前に立つ日比野首席監察官に那智からの電話が入る。娘を返してほしければ指定する場所へ来い。その時、電話から漏れた美月の声がイクオを目覚めさせた!! 新たに監察となった小夏も加え、三人は那智の指定した廃ホテルへと向かう。しかし、イクオは冷静すぎる日比野監察官に疑問を抱き…その腕に金時計を目撃する!! 宿敵はすでにいたのかもしれない…こんな…すぐ近くに…!!

ouroboros

CONTENTS

第33話 闘 005

第34話 識 045

第35話 望 085

第36話 聖 125

第37話 好 165

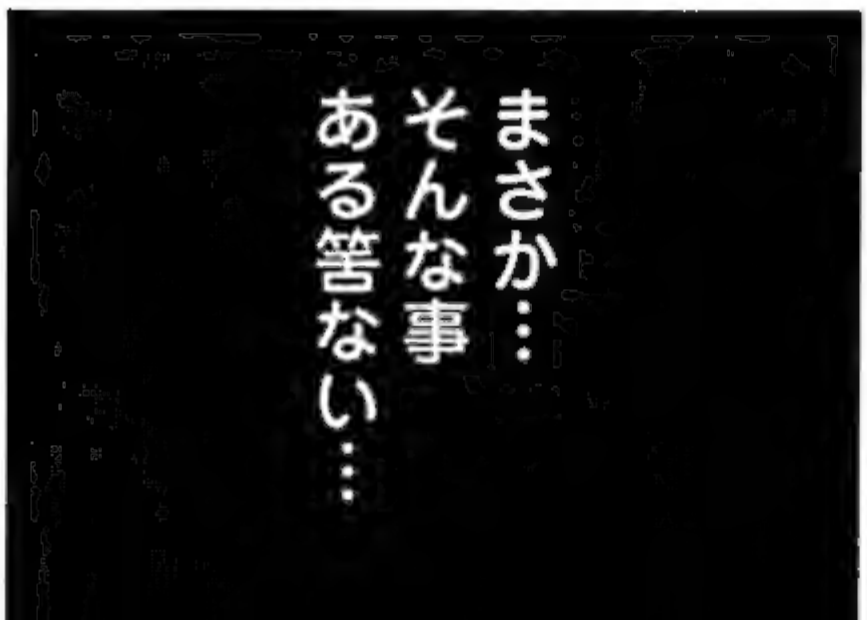
第33話 闘

まほろば……？

何の事かな龍崎(りゅうざき)君…？

いえ…スイマセン！
さっきの質問
忘れて下さい！
ゴ

病み上がりのせいか
頭ボ――ッと
しちゃって…
変な事
言っちゃって…
…そうか…


まさか…
そんな事
ある筈ない…

日比野監察官は
僕の上司…何より
日比野さんの
お父さんだぞ？

崖下は任せたぞ
龍崎君

ゴッ

ハイ

いくら何でも
日比野監察官が
「金時計の男」な
ワケ……

……

とにかく…今は
「金時計の男」よりも

日比野さん

どうか
無事で…！

闘 第33話

……さらに霧が濃くなってきている…

この状況で人探しとは…参りましたね…

！

あわてるな…オレだよ

!!!!
!!!!
…来てたんですね
貴方も…

おや？
一緒にいる部下二名は
どうしたんだ？

「赤鼻（あかはな）」…！

!!!!

蝶野君…
ひどいなぁ
「赤鼻」なんて

アタシ この鼻
コンプレックス
なんですケドねぇ

仕方ねぇだろう？
アンタ誰にも自分の本名
名乗らねぇんだから

そう言えば…
蝶野君 どうも
御苦労様でした

ポリ

聖隊への
スパイ活動

聖由起人副総監が
余計な事を公言しないよう
監視のため聖隊に入る任務

まぁ 今となっては
その必要もない

権力の暴走…
行きすぎた違法捜査の末に
東拘行き……そんな男の言葉など
今は誰も耳を貸さないでしょうがね

オレが監視せずとも
聖副総監は何も
喋らんさ

彼はそんな
小者じゃない

…ほぉ…

まさか聖隊に入って奴に感化でもされたとか？

ククク…

笑止

口封じのために己の部下をも殺す

貴様のような下衆には わからんだろうよ 赤鼻…！

……おや？ 図星か？

ぴくぴくっ

……

……

まぁ いいでしょう

今回は高みの見物でもしてて下さいな 蝶野君

ネックレスを手に入れるのが私の任務なんで

今は同じ公安の特務班同士だ

より より

ヤバくなったら助けてやらん事もないぜ 赤鼻？

ピク…

アタシの獲物に手ェ出したら…集団右

アナタも殺っちゃいますよ？

！

ﾄﾞﾝ

ﾄﾞﾝ

クソ…！
頭クラクラする…

どっち行けば
この森出れんだよ
チクショウ…!!

霧でほとんど
何も見えねぇし…

迷っちまったんじゃ
ねぇのか!?

クッ……

これから
どうすんだよ
美月…!?

とにかく
ここを離れましょう

隠れてるのを万が一
見つかったら逃げ場がない
……危険すぎる

こ…このまま
隠れてたら諦めて
くんねーかな!?

無理よ

それにこの場は
逃げられたとしても
またいつ狙われるか…

だとしたら
選択肢は一つ

奴らと闘う以外
ない……！

ゴ

オ

オ

たっ…闘うったって
無理すぎじゃね!?
オレも怪我してるし
こんなんじゃ
とてもじゃねえ

那智さん

銃持ってたでしょ
貸して
私が公安(ヤツら)と闘う…!!
那智さんは
ほとぼりが冷めるまで
隠れてて
私は
刑事よ
今までこれ位の修羅場
乗り切ってきたんだから

…ったく…
さっきは大泣きするわ
今度は強がるわ…

はあ…

メンドクセー女
だぜ ホント…

待てよ
この霧じゃ銃は
使い物になんねえよ

！

かなり接近しないと
標的も見えねぇ

ましてこの霧の中で
動いてる敵に当てんのは
不可能だってコトよ

ズズズ…

ってて…！

そ…それは
そうだケド…

そんな事言っても
一か八か
やるしか…！

オレに
策がある

まぁ
任せろって♪

どわあああああ!!

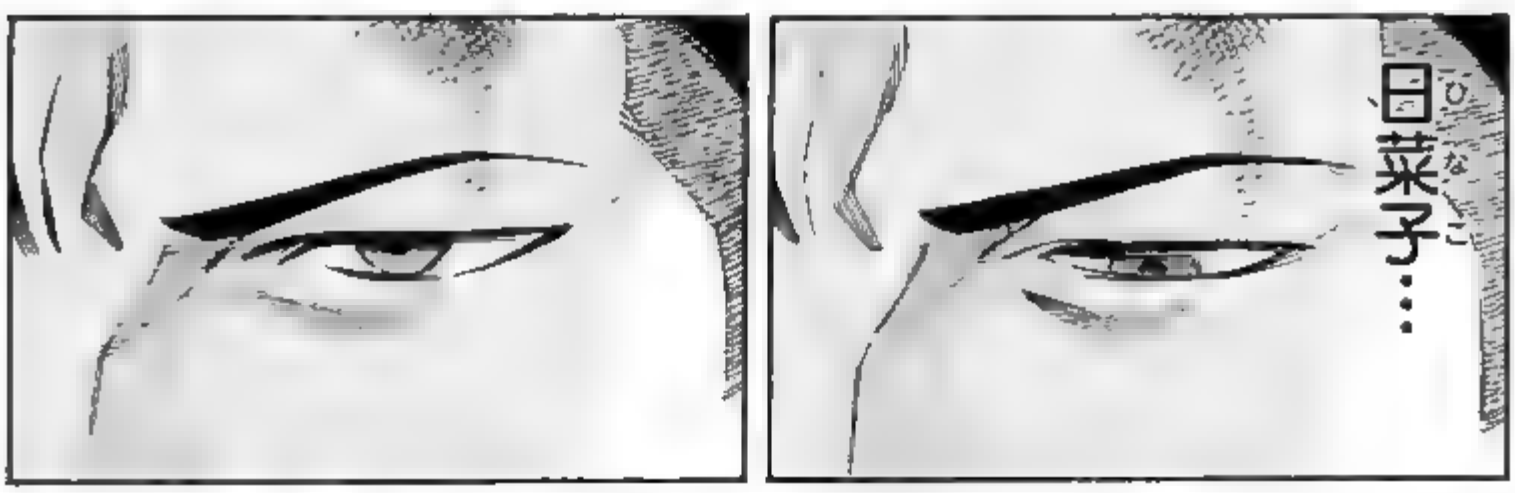
なんでカッコ
つけちゃうかな
オレェえええ!?

今まで裏社会専門の
アングラライターとして
何度も危険な目に
遭ったケド

今回ダントツで
ヤバいって!!

こんな所で
死ぬのかよ
オレ…!?

こんな所で…



こんな所で
死んでたまるか
……！

ヒナがオレを
待ってる…

血の繋がった兄妹の
オレだからこそ…
確信を持ってわかる

アイツは…ヒナは
今もどこかでオレが迎えに
来るのを待ってる…!!

だから
死ぬ訳には

ズリ
ズリ
ズリ

残念

貴方
死にましたよ

わ…
うわぁあ
あぁっ!!

!!

ちょ…落ち着け
オレ…!

こんな弱そうなオッさん
ひとりなら…オレでも
倒せるんじゃ…!?

イタタ…

やってやるぜ
クソがあっ!

うらあっ!!

…こ…

このオッさん…!
動きが只者じゃねぇ
…マジか!?

オラアッ!!

ブン

オレが弱えからって
ナメンじゃねえぞ
オッさんよおっ!!

!

!!……
こ…

降参っ!!
降参するっ！
参ったぁ!!
もーお手上げ
ギブギブ!!

怖え…
このオッさんの
殺気…!!
ゴクッ…

ネックレスは
どこです？
え…
ネックレス!?
何の事スか
…!?
そうですか

おお…!!
ぐ…う…
ピリリリリ
ピリリリリ
おえええっ!!

那智…聡介さん
ですよね
アングラ専門の
ライターさんとか
!…
何で…!?

おお…
おう…

アタシも自己紹介しないと失礼なんですが…スイマセンねぇ

公安の職業上 アタシ自分の名前は名乗らない主義(ポリシー)でして

一般の方には理解されないでしょうが…我々公安特務班の任務には非合法な事案も多い

何かが起こった事すら誰にも知られない…名前など必要ないのです

それどころか名前は時として自己を見失わせ任務遂行の意志をも鈍らせる

!?

!?…

だからアタシは大嫌いだったんですよ「ゼロ」の連中が…！

奴らは自分達が「ゼロ」だという自尊心のせいで今の境遇を嘆き…結果己を見失い自滅した

アタシは違いますね

自分が汚れ仕事を担う公安の歯車の一つである事に迷いはない

任務を遂行する事だけのために動く極めてシンプルな存在

質問は常に一つだけです

ネックレスはどこですか？

だ…だから何なんスか？さっきから…

オレのならココに…

アタシを舐めちゃ駄目

ドゴ

ぶぐっ!!
うぅ…
ちゃんと質問に答えなさい
次はもっと痛くしていきますよぉ

う…うぅ…
ふぐっ
プル
プル
う…

た…
助けてくれ…

オレぁ…アンタの言う通り冴えねぇ三流ライターだ
闇金に借金だってある…
あの日比野って女からは手を引く…アンタらにも逆らう気なんてねぇ…!

ネックレス欲しいなら協力すっから…
だから
た…たた
助けてくれぇ…!!
命だけは…

こんな所で死にたくねぇんだよぉぉ…!!
うう…
助けて…
お願いします…助けて…!!
……
はぁ…

安心しなさい 貴方なんか殺しても何のメリットもない
ポリ ポリ

その代わり貴方には囮になってもらいますよぉ
あの女刑事さんをおびき出すための囮に

た…助けてくれるんスか!?
ありがとうございますっ!!
ハハ…良かったですねぇ

ま…ネックレスを手に入れた後に
殺しますけど

じゃあさっそく
あの女を探しに
行きますか

あ…
あの…

手…貸して
もらえます？
オレ…体中ボロボロ
で…
サーセン…

仕方ないですねぇ
…ホラ

しっかし…スゲェ
雰スね…

体中ビチャビチャで
気持ちわりい…

？

まぁ
その方が
好都合だけどな

この男…

ビク

ビクッ!!

スタンガンを持って…!?

自分の体ごと…

スタンガンで電流を流して…!?

改造スタンガンの…威力…

マジ…ハンパねぇ…え…

お…おぉ…!!

ビクッ

ビクッ

マズい…!!体が動かな…

コト

わぁあああ!!

基さんに
あの世で謝れえっ!!

基さん…本当に
ゴメン…

巻き込んでしまった
私を許して…!!

那智さん!!
大丈夫!?
那智さん!

しっかりして!
ねぇ!!

か…から…
しび…れ…へ…

自分の体ごと
電流流すなんて
無茶な事…!

こ…今度は…また泣いてんのオマエ…？

ハ…ッ

ホント…メンドクセ…

…那智さん…

しっかりして那智さん！今のウチにココを離れましょう！

ゴ

て…でぇっ!!もっと優しく…

ザ

美月達が公安と闘う数分前――

ここで何が
起こってる…!?

崖の下に壊れた
車があった…

あの車は日比野さんを
誘拐した犯人の車…？

そして…車の
近くにあった

男性二名の
射殺体…

日比野さんも
この場所に？
だとしたら

危険すぎる…!!

!

ゴ!!
ゴ!!

!

よお

海の次は山かよ…
ったく色んな場所で
出くわすな

蝶野さん…！

蝶野さんは聖隊にいたはずじゃ…

抜けたよ

そもそもオレが聖隊に籍を置いていたのは実は全く別の任務だったしな

…別の任務……

蝶野さん…それってもしかして…

「金時計の男」の命令で…？

「金時計の男」……？

何の事だ…？

…蝶野さん…17年前の僕らの過去…全て知ってるんですよね？

だとしたら

僕はもう第二署時代の僕のままじゃいられない…

警察の中に潜む金時計の警察官に辿り着く…そのための覚悟がある

どんな試練もいとわない覚悟が…!!

…覚悟…

確かに先日カジノ船で会った時よりも…何か目の輝きが違うな

お前を変えたのは
犠牲になってくたばった
相棒のせいか？

！

見損なったぜ
段野（だんの）の奴には

お前を助けるために
身代わりに撃たれて
海に落ちるとは…！

刑事をかばって死ぬ
極道なんて前代未聞
だぜ…まったく

!!……タ…

タッちゃんは
死んでない！

タッちゃんが
死ぬワケ…
生きてる!!

…やはりか

？……

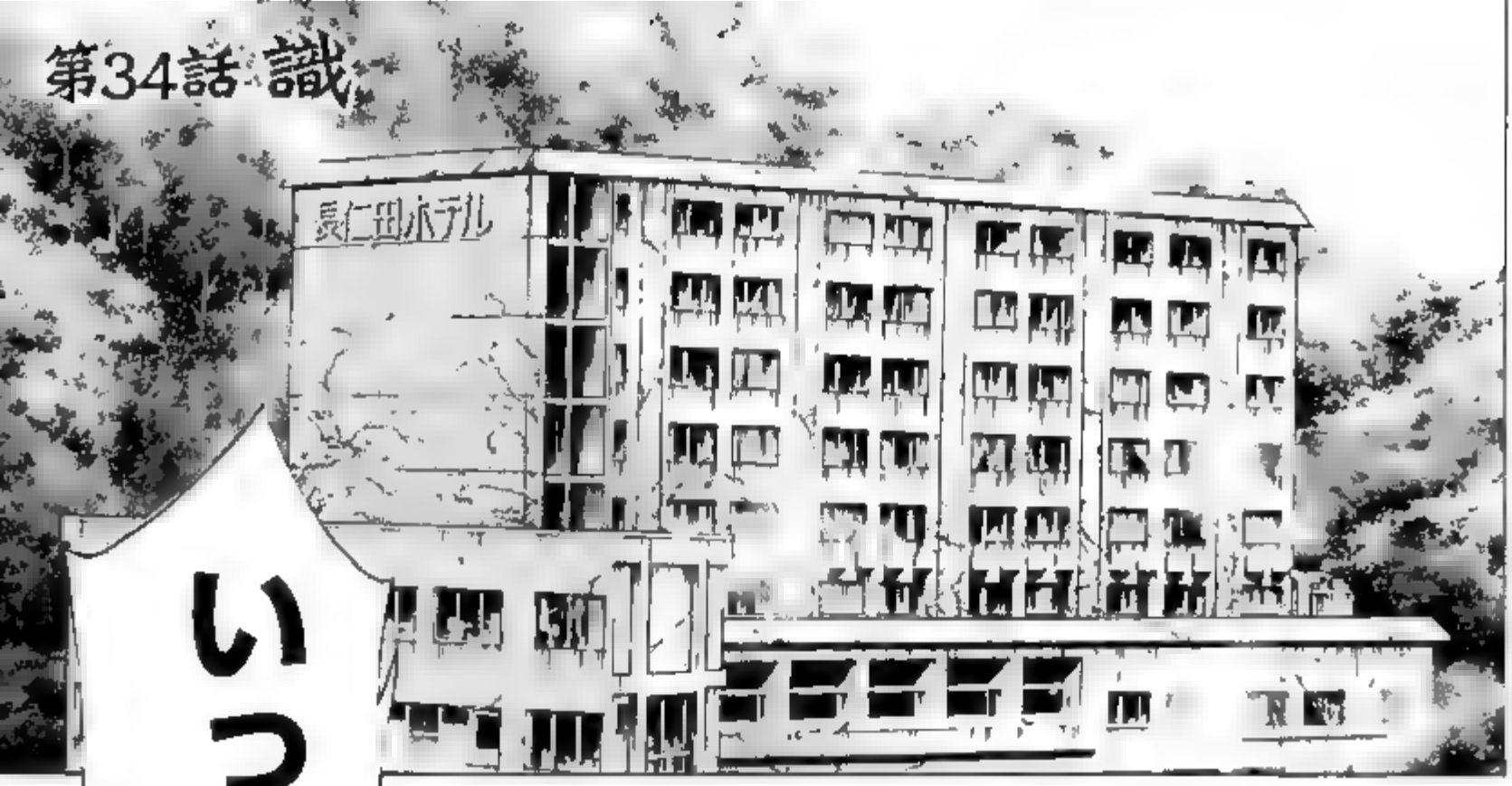
龍崎…やはりお前も
知らないんだな…？

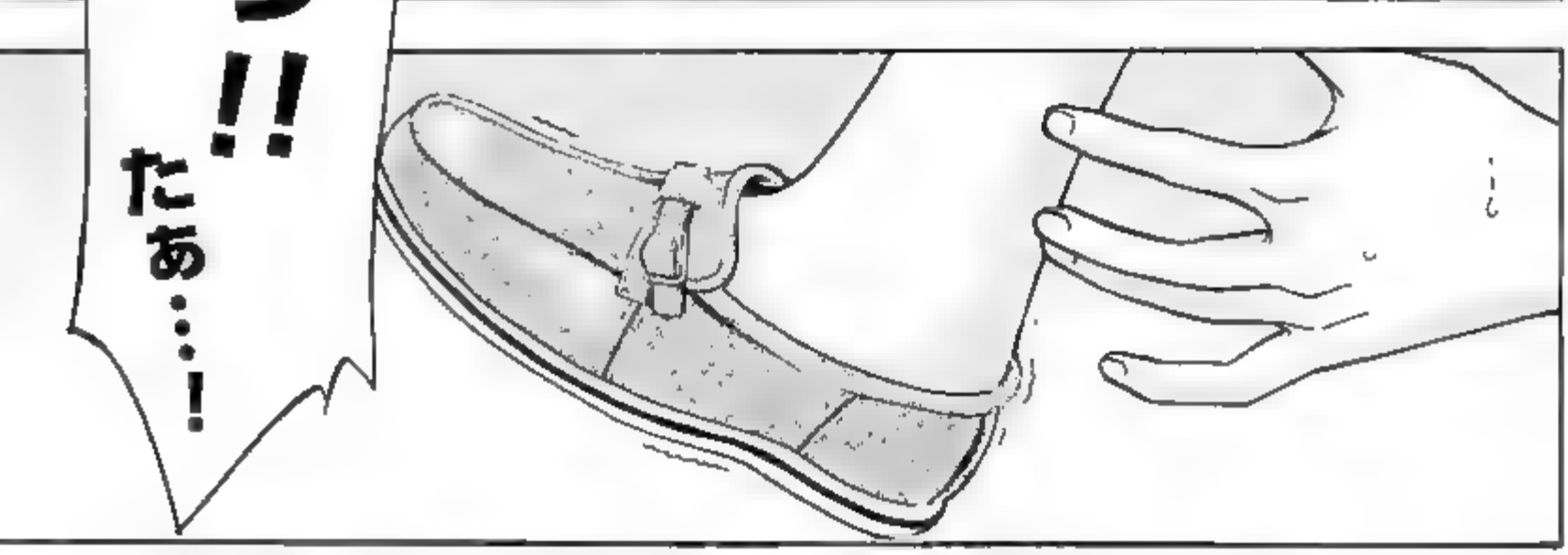
え……

段野竜哉（たつや）の行方を

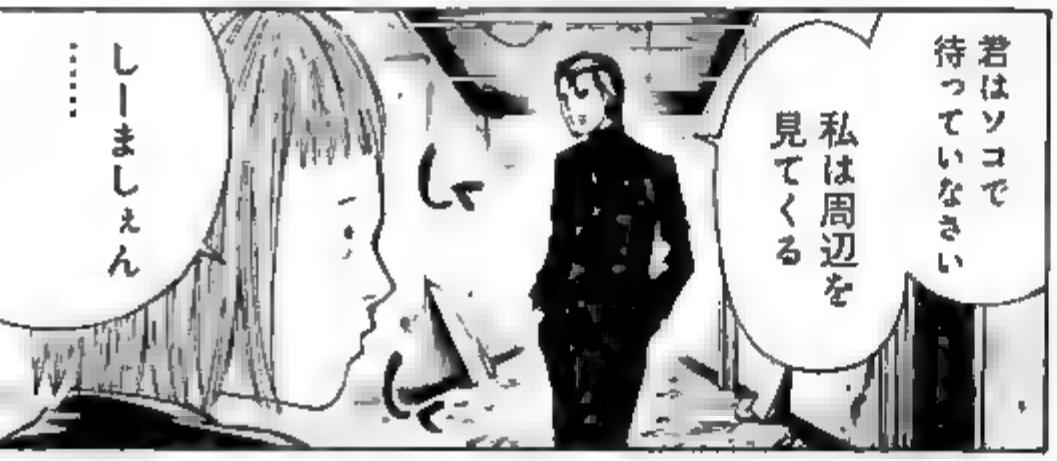
生殺与奪
段野竜哉は
生きている
と言ったら
信じるか？
龍崎…

第34話 識


長仁田ホテル


いっ!!
たあ…!

どうした?
小夏君
?
床が抜けて
足くじいちゃった
みたいでぇ…


君はソコで
待っていなさい
私は周辺を
見てくる
しーましぇん
……

……
どういう事だ
…?

美月を誘拐した犯人が
指定した待ち合わせの
時間をもう30分も
過ぎてしまっている…

やはり…途中にあった
事故跡はその犯人の車の
……という事か…？

美月に
連絡してみるか…

お掛けになった番号は
電源が入っていないか
電波の届かない
場所に――…

…圏外か…

さっきは美月の携帯番号から
着信があったが…

どうやらこの辺りは山奥で
電波の状況が不安定な
ようだな…

ご用件のある方は発信音の
後にお名前とご用件を
――…

留守電を
残しておくか…

美月…

…タッちゃんが
生きてる…って

本当なの
蝶野さん…
!?

第34話

より
より…

先日のカジノ船
摘発事件…

聖隊と卜部(うらべ)一家の
争いの混乱に乗じて

オレが海に落ちた
段野を助け出した

夜の海の闇と波音は
行動を隠すのに好都合だ

カシノ船に常備してある
救命ボートに段野を乗せ
俺は船から脱出した

そしてそのまま
刑事時代からの
馴染みの診療所へ
段野を運んだ

前科はあるが
腕利きの外科医でな
買収済みなんで
情報が外に漏れる
事もない

そ…それで!?
大丈夫だったの
タッちゃんの怪我は!?

僕の身代わりに
タッちゃん撃たれて…!!

局部の銃創は当然
手術の必要があったものの
弾丸は貫通していたし
内臓に大した損傷もなかった

医者も言ってたよ
「悪運が強いにも
程がある」ってな…!

それでも段野は銃で撃たれた上溺れ死にかけた

少なくとも数週間は絶対の安静が必要な体だった…

なのに…昨夜医者が連絡してきたよ

ヴィ――ヴィ――…

ピッ

……何…!?

段野が…診察所から消えた…ってな

!!……

奴がすぐに連絡を取るのは
お前しかいないだろうと
踏んだんだが…

まだ奴からの
連絡はなかったか…

じわ…

あ…ありがとう
ございますっ！
蝶野さん!!

！

ばっ！

タッちゃん
助けてくれて…

勘違いするんじゃ
ないぜ 龍崎

オレが段野の命を助けたのは

オレのためだ

オレの目的は段野を下部一家のように摘発する事じゃない

まして殺す事でもない

このオレの手で段野を捕まえる事だ

それに…喜ぶのは早いんじゃないか龍崎？

段野はもう死に体…あの傷じゃ今頃どこかで野垂れ死んでるかもな

…ホントは蝶野さんだってそう思ってないクセに

…あ？

タッちゃんが死ぬワケない

昔からいつだって
そうだった

……

!!

銃声…!?

パーン!!
パァァン…
パァァ…

ビク!!

タッちゃんは
無敵なんだ！

！

…蝶野さん…

タッちゃんが
生きてるって事が
わかってホントに
良かった…

でも

今は
日比野さんだ

日比野さんと誘拐犯は
この辺りに…？
そしてあの銃声…

何か…

何かが
起きてる…!!

……

段野は無敵…か…

子供の頃から龍崎にとって段野はかけがえのない存在ってワケだ…

まぁオレも段野が死ぬとは到底思えんが……

一つ…気になる事がある…

段野…まさか…

いや…

ゴッ

オレの考えすぎかも知れんがな…

はっ

はぁ

はっ

はぁっ

はっ

はぁ

はぁ

はぁ

ゴロ

ゴロ!!

公安の男は……？

斜面を落ちていった…

死んだの…？

初めて…人を…撃った…

う…

!!……

あ…あ…

！

那智さん！
大丈夫
那智さん!?

しっかりして
ねぇ!?

か…から…
しびれ…

こ…っ
これ…くらい…
どって事…ねぇよ…

ザマァ…
見ろ…
っての…！

しっかりして
那智さん！
今のウチにココを
離れましょう！

ちょ…
そ…
その前に…

ショ…ン
ベン…を…

！

ふう…

スッキリしたぜ
シビれた時に
濡らさなくて
ラッキー♪

さて…

これからどーすんのよ
オレ…!?

はあー

公安に尾行されてたって事は…多分事務所アウトだろ…?

まだローンも終わってねぇローバーちゃんもオシャカにされちまうしよぉ…!

ぐおおっ
夢になれ!!

こーなっちまったらオレも今日からホームレスの仲間入り…

美月…あの女
とんだ疫病神だぜ
クソッ…!!

…まぁ

これで
ハッキリした
ワケだ

天下の警視庁公安部が
ここまでやるって事は
逆に言えば

あのネックレスの中にある
情報は…それ程の価値のある
機密情報だって事…!!

もう少しの辛抱だ
日菜子…

もう少しで兄ちゃんが
お前に会いに
行くからな…!

!

ムササビか…?

アレ? ムササビって
確か…夜行性だった
ような…

ドゥッ！

りゅ…

龍崎!?

!!

龍崎…おま…っ
何でココに…!?

ちょ…
ま…
待て待て!!

ガシッ

ぐえっ!

ガバッ

ちょ…

ちょお待てって!
オレはお前の
幼馴染みの…

ゴッ

やめて
龍崎さん!!

ひ…

日比野…
さん…!!

龍崎さん…
意識戻ったのね
良かった…
日比野さんこそ…
日比野監察官から
誘拐されたって聞いた時は
どうなる事かと…!!

えーと…
誘拐っていうのは
ちょっと違ってて…

あ…あの…
龍崎さん…
？

じゃ…じゃあこの男は
誘拐犯じゃ…？
コラ 人を
指差すな！
彼は…えっと…
むしろ私を助けて
くれたっていうか…

これ…

!!
コレ…
失くしてた…
ゴメンなさい!!
勝手に取るつもりなかったんだけど…

返そうと思ってたら公安にネックレス狙われて…
甚さんはそのせいで…!!
どうしたらいいかわからなくて…

?…
公安…?

龍崎イクオ

「段野竜哉」は元気かよ？

!!

この男…タッちゃんと知り合い!?

僕達ふたりの関係を知ってる…!?

誰だ…!?

さっきオレを襲った時は別人だったが

今のオマエは変わんねぇな…昔と

那智聡介(なちそうすけ)だ

「まほろば」にいた頃からだから…17年ぶりか

……

那智…

どーも初めまして…

ペコリ

忘れてんのか
オレの事!?

マジかテメエ
思い出せよ!!

コラァ!

そ…そんな事
言われましても…

ホラ お前らよか
ちょっと年上の!

ケンカが
弱くて!

シス・コン・って
段野に言われてよお…

え――――…と…

…シス

！

思い出した！

那智君!?
ヒナちゃんの
お兄ちゃんの!?

…テメエ今
シスコンで思い出したろ
……?

お前の事は
オレは知ってる

幼馴染みの段野と
ツルんでる事もな

!!

タッちゃんの事も
知って…!?

マ…マズい……

日比野さんにバレたら…!!

龍崎

だ…段野？

ああ！施設で一緒にいた子供の…？

え…

もう隠し通せる状況じゃねぇんだよ…！

美月に全部
話しちまったよ

極道の段野と二人で
柏葉結子の復讐を
果たそうとしている
事も…

日比野さんって…

ハレた？

そのためだけに
警察官になった事も
……！

全部？

ひ…日比野さんには
関係ない話…

あるわよ

!?

龍崎さんが
復讐の相手と
疑っている人間は

私の父なんだ
から

!!

……

あ…

……

やっぱり…父の事
疑ってたのね
龍崎さん…

……

でも…私だって
本当はわからない

あの人の
事が

一緒に住んで

一緒に食事をして

一緒に
話だってする

それが世間一般で言う
「家族」なのだとしたら
私達は「家族」と言えたんだろう

でも父親(ちちおや)は
一度だってその仮面を
外した事はない

行ってくるよ
美月…

私達は
「仮面家族」だった

あの人はそうやって
いつでも自分の心を
隠していたし…

だから私も反発して
父親の事をちゃんと
見ようとはしなかった

…でも

もう私も
逃げない

娘の私が
直接 彼に訊く

17年前の悲劇…
「まほろば殺人事件」の
真実を

…出来んのかよ
お前に？

！

…もし父が17年前に
「まほろば」で何かしらの
違法行為を行って
いたのだとしたら…

柏葉結子さん殺害に
関与していたら…

私が彼を
止める

私にはその
責任がある

たった一人の
「家族」だから…！

とりあえず
廃ホテルにいる
父と小夏さんに
連絡しましょう

圏外

！
圏外…

那智さん！ ここから
待ち合わせ場所の
廃ホテルまでの距離は？

…5～6キロ
ってトコかな

じゃあ
歩きましょう！

…大した覚悟だぜ
あの女

自分の親に
手錠かける気とは

よっぽど
嫌ってワケだ

・・・・・・大好きなお前と
・・・・・・父親が争うって事が

健気（けなげ）だねぇ

日比野さん…

っとと…

！

……

何だ…やっぱり生きてたか…

赤鼻！

赤いのは鼻だけじゃなくなってるケドな

ぶっ…

…蝶野君…アタシはそんな冗談好きじゃありませんね

そう言うなよ助けに来てやったんだぜ？

奴らはもう追わないのか？

ヤな質問しますね…見ればわかるでしょ？

利き腕の肩にいいのを一発…もらっちゃいました

この状況で追跡はさすがに無理ですねぇ…

ふう…

まっ 別の任務は果たせましたし

今回はおとなしく退きますよ

別の任務？

おや？ そう言えば新入りの貴方には伝えてませんでしたね…その事を

ポリ

ポリ…

先に現場に入った特務班の仲間から連絡がありました

「任務は完了した」
…とね

!?

ゴ

キ

コツン…

ちかれた…

日比野監察官――！

小夏センパ――イ！

ダメね…この辺り電波が通じない…

もしかして入れ違いになった可能性は？

廃ホテルへ続く山道は一つですれ違えば気づかないワケ…

オイ

親父さんの車ってアレだろ？

はぁ

ほの

まだ建物のどっかにいるって事だな…

他の階も捜しましょう龍崎さん

那智さん もう休んでていいですよ 疲れてるみたいだし

ナニおぅ!? 人を貧弱扱いすんじゃねぇ！

コツ

どこ行っちゃったんだろうね… 日比野監察官と小夏センパイ

……

コツ

ドキリ…

ダル

ア

ア

何か物音が……

！

私には
なんにも…

ア

ア

!!

小夏センパイ
大丈夫ですか!?

良かった！
生きてる…!!

う…ん…

くんっ

!?

龍崎さん
どこに…

火薬の匂い…

……何だ…？

何か…

胸騒ぎが……

第35話 望

警視庁より
入電中！

第九方面多摩西警察署管内で
変死体を発見！ 捜査員は
現場へ急行して下さい
現場は――…

倉本さん…さっき課長から
聞いたんスけどこの死体
って…

…おぉ…

警視庁の警務部から
直令だ…！

「混乱を避けるため
事件の概要は絶対
マスコミに漏らすな」
だとよ…！

クソ…何で
よりによって
ウチの管轄で…

警視庁の首席監察官…

望

第35話

日比野囡彦(くにひこ)首席監察官が
殺されるなんてよ…!!

…何てこった…

人里離れたこんな廃ホテルで殺人事件…しかも死体(ホトケ)が警視庁の大幹部とは…！

こりゃ当分は帳場から帰れねぇぞぉ!!

確かにな…

！

桜井(さくらい)管理官！お疲れ様です!!

日比野監察官といえば泣く子も黙る警視庁(サンロク)のお目付役…

オレも会う度に震え上がっていたモンだが…

警視庁捜査一課管理官
桜井修治(しゅうじ)警視

で…アイツが第一発見者ってワケか…

はい…

……

久しぶりだな
龍崎巡査部長…

お前が捜一に
所属してた頃以来か

……

詳しい話を
聞かせてくれ
これは一体…

コラァ！
桜井管理官の
質問に答えろ！

……え…

龍崎…日比野監察官は
今のお前にとっては直属の
上司…辛いだろうが

事情聴取
させてもらうぞ

まずお前と
日比野監察官…そして
田村小夏警部補…

お前達三人が
この廃ホテルに
来た理由は

誘拐された
日比野美月警部補を
救出するため…といったな？

誘拐した犯人は
不明

お前ら三人は
犯人と交渉するため
日比野監察官の車で
この廃ホテルに向かった

本庁に誘拐の旨を
報告しなかったのは
日比野監察官による
秘匿命令だったと…

その途中 山道で
事故跡らしきタイヤ痕を
発見し…龍崎だけが
車を下車し周辺を捜索

そこで誘拐されて
いたはずの
日比野美月警部補と
合流し…二人で廃ホテルへ向かった

到着した廃ホテルで
まず最初に発見したのは
頭部を鈍器で殴られて
血を流して倒れている
田村小夏警部補

そして…その奥のこのフロアで
大の字で倒れていたのが
心臓を撃ち抜かれ…絶命している
日比野監察官
だったと…

……はい
その通り…
です…

何だ そりゃ!?
答えになってねぇんだよ!
何で日比野監察官は
本庁に誘拐の事
言わなかったんだぁ!?
あぁ!?

テメェ…何か
隠してんじゃねぇのか!?
……
…隠してませんよ
……

ケッ!

上司が殺されたってのに
スットボケた奴だぜ!!

こんなマヌケな部下
持ってるようじゃ
殺された首席監察官様も
大した事ない…

グエッ!?

ヒュッ

ぐい

あ…

……!

!!……

言いすぎたぞ
すまない龍崎…
もう許してやれ

げほっ！

……てぇな…
ジョーダンだろうが…

それで…頭を負傷した
田村小夏の容態は？

近隣の病院に
搬送したようです…
命に別状はないようで
すな…

ゲホッ

そうか…
良かった…

鑑識の方は
どうだ？

詳しい事は
わかったか？

ええ…
おおよそは

犯行に使用されたのは
36口径小型の自動拳銃

貫通した弾は
回収しました

心臓を一発…
痛みも感じず即死
だったようですね

被害者の銃創の周囲に煤輪と火薬輪がありました

近射で見られるものでこの密度でおおよその発砲距離が特定出来ます

射入口の大きさからも発砲距離はかなりの至近距離から…

おそらく…2メートル以内ですかね…

現場に残った足跡は今調査中として…

あとわかったのは弾の入射角度ですね…

「挫滅輪」ってわかりますよね？

挫滅輪ってのは銃創の周囲に出来た黒く焦げた縁の事…

弾の入射角度が人体に対して直角な場合に挫滅輪は同心円状になる

日比野監察官の銃創に
出来た挫滅輪は
綺麗な同心円状だった

つまり

弾は人体に対し
直角に入ったという事

以上の事から
わかるのは

犯人はかなりの至近距離から
被害者を狙撃した…
被害者とほぼ同じ位の身長の

男性って事ですかね

男性？
なぜ男性だと
言い切れる？

もう一人の被害者
田村小夏警部補が搬送される
間際に証言してくれました

足場の悪い廃ホテルで
足を挫いた田村警部補に
「待っているように」と促した後
日比野監察官は彼女を残し

一人で奥へ
進んで行ったそうです

その後しばらくして

背後に気配を感じ
彼女が振り向くと

男性が鈍器を持って
殴りかかってきた
…と

!!…

男に殴られた後
田村警部補は気を失った
そうですが

かすかな意識の中で
日比野監察官のいる方へ
向かう犯人を目撃して
いたそうです

じゃあソイツが
日比野監察官を…？

間違いないで
しょうね

遺体の側には
日比野監察官の
携帯電話が
落ちていました

電源は入っていなかった…
誰かと通話中に襲われそのまま
充電が切れたようですね

犯人は通話中の
日比野監察官に背後から
近づき…

確実に殺せる位置まで
近づいた上で日比野監察官が
気づいて振り向いた瞬間
…ズドン！

！……

？……

龍崎

え…？

日比野美月の容態は…どうなんだ？

彼女（アイツ）もいたんだろう？現場に…

その場で気を失って倒れました…

多摩西署の方々が署の医務室に運んでくれて…

…そうか…

お前 日比野とは所轄時代からのコンビなんだろ？

ちゃんと支えてやれよ

ここが日比野美月の刑事(デカ)としての正念場だぞ

このまま警察官を続けるか…

それとも

警察官という生き方をやめるか…のな

……

はっはっ
はっ！
はっ…
な……!?
何で……!?
ひ…
日比野…監察官が…
し…死んで……!?
!!
龍崎さん…？
？
何かあったんですか
龍崎さ…
！

き…来ちゃダメだ
日比野さん!!

何でもない!!

何でもないから!!
だから…

…何テンパってんの
オマエ?

…龍崎さん
といてドさい

!

私が…ちゃんと
この日で見ます

どいて下さい
龍崎さん…!

?

ス

オイ
どーゆー事だよ
混崎？

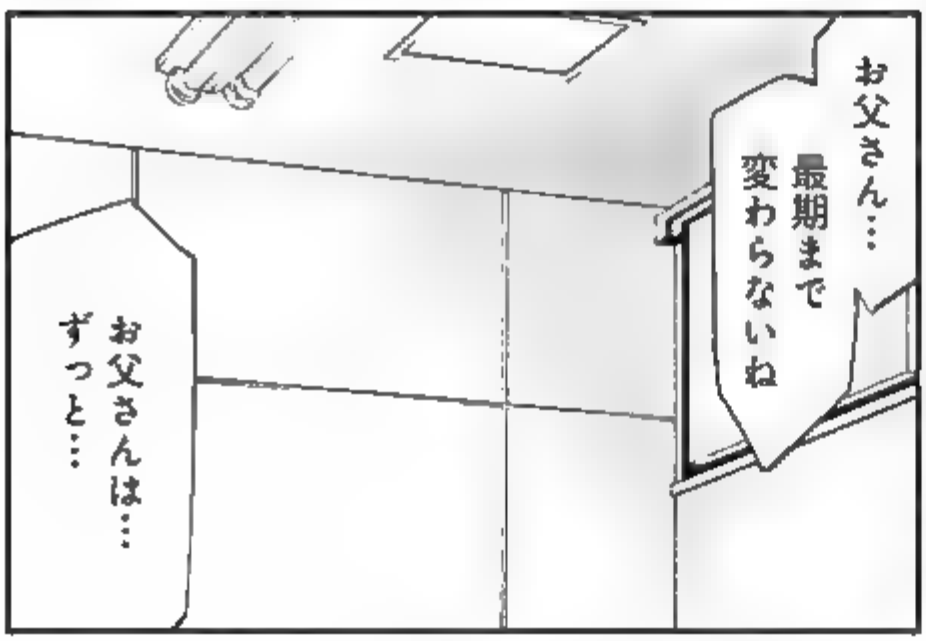
何を隠して
…

ドサッ

警視庁多摩西署——

交通安全

遺体安置室


お父さん…
最期まで
変わらないね
お父さんは…
ずっと…

好き勝手に
生きて…

好き勝手に
死んで…!

持病で体の弱かった
母や幼い私を顧みず
仕事に邁進し…

お母さんの
最期の時でさえ
仕事でどこにいるのか
連絡もつかなかった…

誰もが羨むような
地位と権力を
手に入れて…

首席秘書官なんて
役職にまで出世して…

さぞかし
幸せな人生
だったんでしょ!?

満たされてたん
でしょ!?

だったら
何で…

何で!?

何であんな顔してたのよ!?

あの日…母の命日に――

十年

!

その年だけ
じゃない

毎年毎年…
母の命日にお父さんは
やってきた…

それも…いつもあんな
辛そうな顔で…

貴方が辛いワケがないでしょ!?

私達家族を犠牲にしてさんざん好き勝手に生きてきたクセに!

自分の思うまま…望むもの全て手に入れてきた人生だったクセに!!

満たされてた貴方があんな辛い顔する資格ない!!

!

龍崎…さん…

今回の事件の捜査本部が日比野さんに訊きたい事あるって…

日比野さんの携帯電話の着信履歴…見てもらえる?

着信履歴…？

ﾊﾟｯ!!

！

留守電が…入ってる…誰の…？

そのメッセージ…日比野監察官だよ…きっと

え……？

遺体の側にあった日比野監察官の携帯電話の最後の通話履歴は日比野さんの携帯番号だったそうだよ…

その直後何者かに撃たれて…

山奥で電波が繋がらなくて…一応留守電を入れたんだね

……

留守番電話が入っています――…

メッセージを再生します

ピ――

……

……

もしもし…

美月か？
私だ

!!

今…私は誘拐犯との
待ち合わせ場所の
廃ホテルにいる

犯人は一緒か？
今どこにいる？

やっぱりだ…

犯人の目的は
わかったのか？
金か？ それとも
別の何か…

とにかく犯人について
何かわかったら
犯人の隙をついて
連絡するんだ…いいな

お前は刑事だ…
落ち着いて行動を…

この人は私の事なんか
より…犯人逮捕だけを
常に優先する

警察官なんだ…

誰もが羨み…尊敬する
立派な警察官…

それだけがお父さんの
望んだものだから…

全てを手に入れた
お父さんがあんな顔するなんて
やっぱり許せない…！

美月

一つだけ…私の望みを
聞いて欲しい

え…？
望み……？

母さんの墓参り…次は
一緒に行かないか？

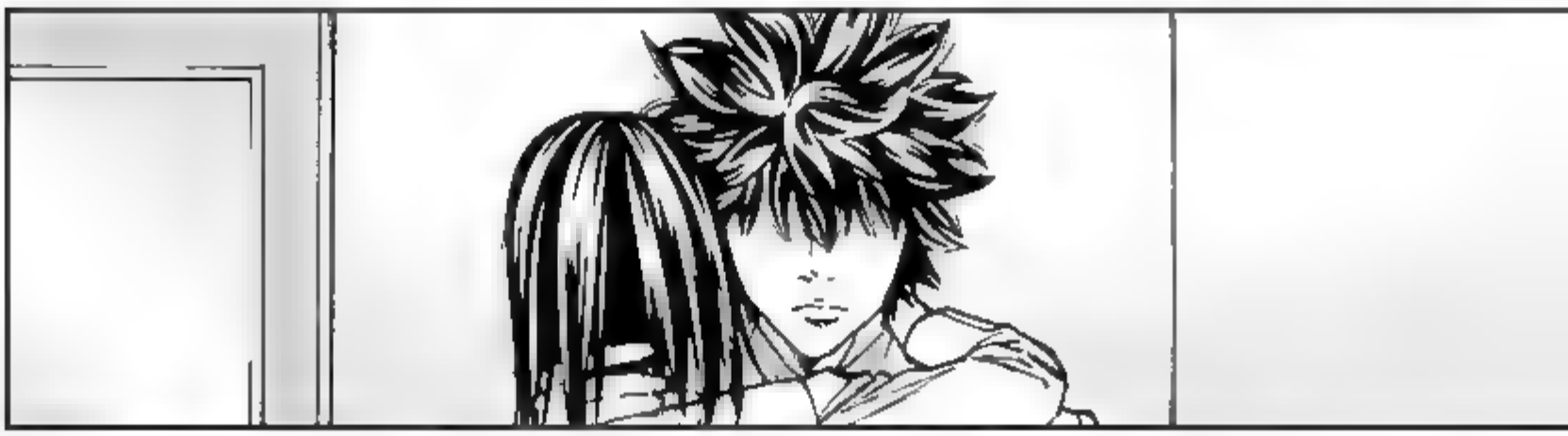
もう一度だけ…
許されるのなら
…欲しいんだ

家族三人の
時間が

何で？
……
お父さんが望んだものは…
立派な警察官である事だけだったはずでしょ？
一つだけ…私の望みを聞いて欲しい

もう一度だけ…許されるのならば…
欲しいんだ…

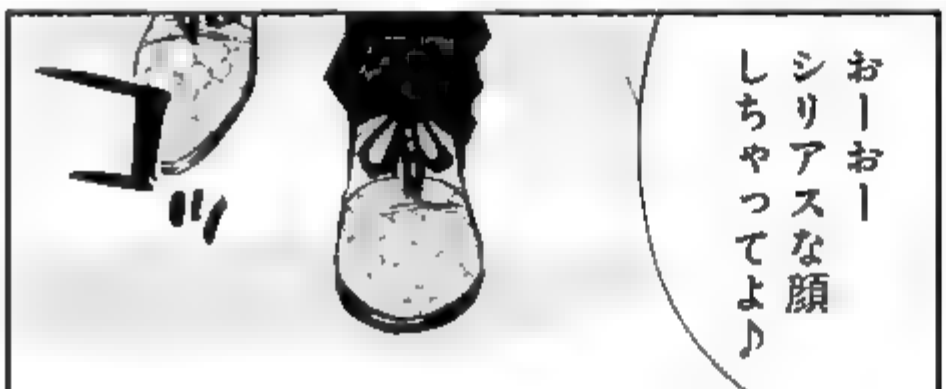
家族三人の
時間が――



日比野さんは…僕だ

僕やタッちゃんと同じ…

世界で一番
大事な人を殺された悲しい人間―



よお

ゴオ

！

那智君
その格好……
髪もバッサリ…

変装だよ

公安の連中に
見つかったら今度こそ
ヤベーしな

ところで…
どうだ？
美月の様子は
…？

この二週間は休職してる
人事課のほうもあっさり
受理してくれたみたい

警察幹部の殺人事件はあまりにもセンセーショナルなため警視庁はマスコミに報道規制をしいている

娘の日比野さんは休職してくれたほうが何かと都合がいいんでしょきっと…

……チッ！

オレのせいだ…！

そもそもオレが美月を誘拐しなきゃアイツの親父があんな場所に行く事だってなかった…！

殺される事だってなかった…!!

いや…違うよ那智君

君のせいじゃない

科捜研の甚さん殺害といい…仮に今回の日比野さん誘拐がなかったとしても…

公安の連中は日比野さんや那智君を追ってきたし

日比野監察官は必ず命を狙われていたはずだ

確信を持って言えるほど
日比野監察官の遺体からは
明確な殺意を
感じた

クソッ！

公安の連中…
一体何なんだ…!?

何でだ…!?
何でこんな事を
してまで
公安は「まほろば事件」を
隠蔽する…!?

……

僕も今回の件で
謹慎処分中なんで
自由に動ける
日比野監察官を
殺した犯人は
必ず探し出す

それが結果的に
僕らが探す「金時計の男」に
辿り着く近道になるはず
だから…！

……

龍崎…
マジに成長したな
コイツ…

金魚のフンみてーに
段野の後ろにくっついてた
泣き虫野郎がよ…

やっぱ段野の生存を
信じてるからか…？

つーかアイツ…！
生きてんだったら
さっさと出て来いよ！

ってオイ！
龍崎 お前
行くアテあんのかよ？

あるよ

日比野監察官が生前
最後に会いに行った人物に
話を聞きに行く

面会室

ガチャッ

……

まだきちんと…

貴方から全てを訊いてませんでしたね…

聖副総監…!!

ニヤ…

第36話 聖

…殺されました
日比野首席監察官が

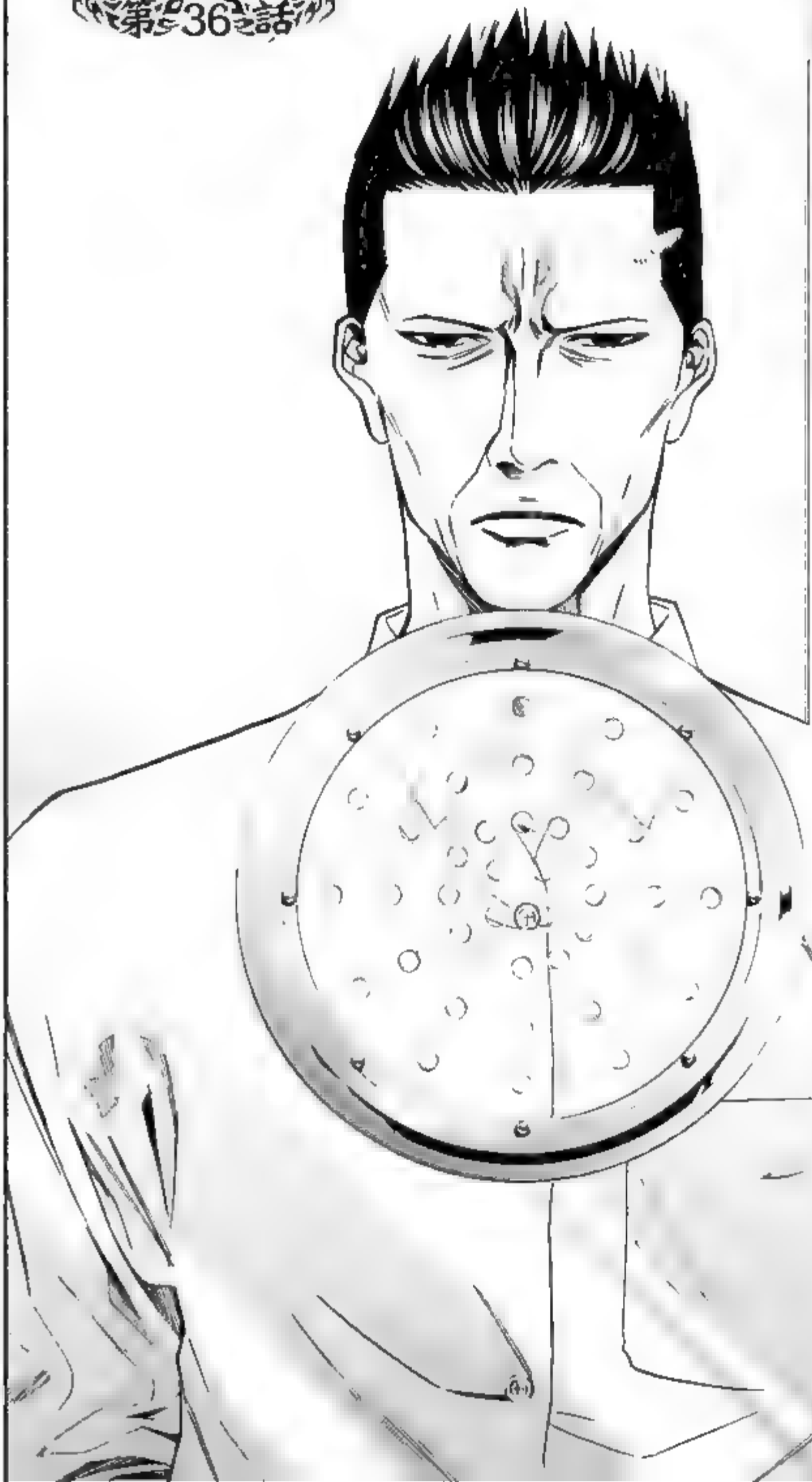
…ああ…
聞いた

日比野監察官が
死ぬ直前に会いに
来たのが貴方だった…

彼は…
日比野監察官は一体何を
貴方に語ったんですか？

聖
第36話

聖由起人副総監…!!



貴方は…
17年前のあの事件の
事を知ってますよね？

裏カジノ船で
貴方はこう言った
はずだ…！

今は…
後悔している
17年前の
あの時

やはりお前らは殺して
おくべきだったと…！

あんな事を言うから
僕らは完全に貴方が
僕らの探していた男だ
と思ってしまった

…でも

貴方の…
あの…

殺意の欠片もない…

悲しみを
湛えた目…

貴方はやはり僕らの敵じゃない

じゃあ何であんな事を…？

……

コトッ

！

…自分 昔は警察官を目指してたんです

……

面会に立ち会わないのは規律違反ではないのか？

扉の外にいますので話が終わったら声をかけて下さい

コツ

警察官を志す者に
貴方を尊敬しない人間は
いませんから
聖副総監

バタンッ

…人望あるんですね
聖副総監

貴方ほどの
偉大な警察官が何故
「金時計の男」を
庇(かば)うんですか…？

……

17年前の
養護施設「まほろば」の
養護士…

柏葉結子
殺人事件

事件の時刻は
雨の降る朝だった
…私は

あの現場に
いた

え…!?

私はその当時
本庁刑事部捜査一課の
刑事だった

捜一入りました！

お疲れ様です！

死体の
第一発見者は？

はっ!!

あの子供達
なんですが…

！

私だけじゃない
アイツも
いた
アイツ!?

!!
あの時の刑事の中に
聖副総監が…!!

!
また
奴か…!

KEEP OUT 警視庁 立入禁止 KEEP OU

え…!!

ひ…日比野監察官も
あの場所に!?

そうだ

で…でも
日比野監察官は
その頃は警視庁の
監察ですよね!?

刑事でもないのに
なんで彼は殺人事件の
現場に…!?

日比野の標的は

私だったからな

監察の日比野の標的(ターゲット)は
「まほろば」という施設を使って
不正を働く警察官

お前の言う所の
「金時計の男」

日比野はその正体は
ずっと私だと
勘違いしていた

!!

一時は日比野監察官が
「金時計の男」なんじゃ
ないかと思っていたけど…
やっぱり違った

それどころか彼は僕らと
同じように「金時計の男」を
探していたって事…!?

お前らの探す
「金時計の男」の正体は
残念ながら私ではない

私に最も
近い人物…

…君達は何も見てない。

何も知らない。

警察だよ？

君達のちっぽけな人生を握り潰す事が出来るのも……

当時の私の相棒

!!……

聖副総監の相棒だった男が
「金時計の男」…!!

日比野は…うすうす
感づき始めていた

オレが「金時計の男」
ではない事に…

そして…それを
確認する為に
拘置所の私に会いに来た

やはり奴は
気づいていたよ

私の元相棒が
真犯人だと…!

日比野が殺されたと聞いた時…私は悟った

殺された理由は彼の正体を知ったから…だとな

おそらく何者かが拘置所の私に会いに来た日比野を尾行していて…

…れ…なんですか…？

誰なんですかソイツは!?

言ぇん

ヒュ…

相棒を売る事は出来ん

30年近く前…

あれは私が
下っ端の派出所勤務から
警視庁刑事に異例の
大抜擢をされた直後

最初の事件だった

元暴力団構成員の男が
覚醒剤に狂って
一般人を刺し殺し逃走

その男が情婦の住んでいる
団地の一室に潜伏しているとの
情報を偶然にも私は手に入れた

本来ならばその情報を
捜査本部に上げ
本部主導で犯人確保するのが
セオリーだ

だが

無謀にも私は一人で
犯人の隠れ家へ潜入した

!?

!?

自分にそう
言い聞かせては
いたが…

「早く犯人を捕まえないと
犯人が逃走してしまう
かもしれない」

何の事はない…
新人で手柄が欲しくて
欲に目が眩んだだけだ

その結果・・・
わぁあああ!!
あくあぁあああ
ガタ
バタ
ああ・・・
!!
ひいいっ
やがって…殺して
殺してやる…
!!

オオオレを
ナメやがっててて…

ヒヒッ

み

みみ

みいんなあああぁ
ブッ殺してえええぇ

あぁ…
助け…!!

キャコ…

殺される…
そう思った瞬間

ドカ

離せ
ゴルァッ!!

ブッ殺すぞ
おおおおお

ぐあああああああ
あああああ——!!

ぐえぇっ!

ウグッ

ぐぅ…ッ!!

大丈夫か
聖!?

頭の怪我…
大丈夫か!?

だ…だ…
大丈夫です…っ…

オ…オレ…
勝手に…!

て…っ

手柄…
欲しくて…!!
すいませ…

傷にさわる…
黙っていろ 聖

今回はお前に
強行突入の指示を出した
オレの責任だ

え……？

大した度胸だよ
お前…

ス…

聖

ナイスガッツ！

あの時…彼が助けに来てくれなければ私は確実に殺されていた

それだけじゃない

強行突入の責任を自分が被ることによって刑事としての私の未来をも救ってくれた…

その時…私は誓ったのだ

たとえ…正しかろうとそうでなかろうと

この先どんな事が起ころうと私の命は彼のために殉じようと…！

！……

その男が

「金時計の男」!?

教えて下さい聖副総監！

僕達は17年間ずっとその男を…

龍崎

！

彼は私にとって唯一無二の相棒だ

お前にもいる
だろう…
相棒が…

お前は相棒を
売る事が
出来るのか？

!!
……

く…っ

!!
……

もういいです！

！

ボタ!!

そこまでわかれば
貴方の力を借りなく
たっていい

僕の力で真実に
辿り着いてみせる！

……

ボ!!

真実に辿り着く
……か…

ニヤ

たとえそれが
知らない方が良い真実
だとしても…？

……？

バタン！！

……

…私は…

最低の人間だ

……

彼の悪行から目を背ける…
今の私はもう

「警察官」である資格は
ない……か…

ゴォ

オ

オ

聖が
「金時計の男」の正体を
知ってて喋らない…だぁ!?

あ!?

聖の弱み掴むとか
何とかなんねぇのかよ!?

聖の恥ずかしい写真
探すとか…

聖副総監は
一度決断した事を
曲げるような人
じゃない

墓場まで持って
行く気だろうね

聖副総監が今まで
日比野監察官のように
殺されてないのが
何よりの証拠

聖副総監は
真実を誰にも
話さない

そんな聖副総監の性格を
知りつくしているからこそ
「金時計の男」は聖副総監を
殺害しないんだろうしね…

大した忠誠心だぜ
聖の奴…！

武士じゃあるまいし…

那智君

これから
小夏センパイの
いる病院に行こう

小夏…って
あの廃ビルに
倒れてた？

うん

「金時計の男」に近づくにはまず
日比野監察官を殺害した犯人を
見つけ出さないと

小夏センパイだけが唯一の
犯人の目撃者だ…!!

コッ
ズス…
コッ
ズス…
コッ
ズス…
コッ
ズス…
コッ
ズス…

!!

きゃ…

っ…ッ！

おっ

とお…

小夏センパイ
駄目ですよ！
無理しちゃ…

お――…
イクオっち…

アレ？
イクオっち
この人は…

あ…ああ…えーと…
こちら多摩西署の
刑事さんで…

あども…

それより殴られた
頭の傷は大丈夫
なんですか？

安静にしなきゃ

あ――頭は
平気平気♪

それよか左足
捻挫しちゃって…

これも
犯人にやられて
…？

違うんだなー
コレが

犯人に襲われる前に
廃ホテルで
転んじゃって！

アホすぎる
アタシ♪

…小夏センパイ

見たんですよね？

犯人…？

うん……
かすかに
だけど…
犯人は一体
どんな奴だった
…？

あの時…いきなり
視界がガツンと
揺れて…
景色が
ブレて
そのまま地面に
倒れ込んだの

頭を殴られた事も
気づかなかった…
体が思うように
動かなくて…

そしたら
その後
倒れてるアタシの横を
誰かが通り過ぎるのが
わかった…

銃を持って
日比野監察官のいる方に
向かって歩いて行く…

男の背中が

…気づいたらもう
病院に搬送されて…

もう…何もかも
終わった後で…

あの時…アタシが
足を捻挫したせいで…

君はここで
待っていなさい

もしアタシが一緒だったら
もしかしたら…犯人は
日比野監察官を襲う事も
なかったのかも…って
ずっとその事
考えてて さ…

そ…そんな事！
小夏センパイが
悪いわけじゃ…！

今のこんな状態じゃ監察係も機能なんてしないし…

!…

小夏センパイ無理しちゃ…

ギュッ

だ…から…！

アタシが頑張らなくちゃ……

あの人に…

あの人に怒られ……!!

ギュ…

ひ…！

ひっ

ひ…

日比野監察官っ…!!

…ったってよぉ龍崎…

男性ってだけじゃ手がかりにもなんないぜ？

……

あとわかってんのは犯人が公安の人間って事だけだな

公安…

コツ

コツ

コツ

オレと美月を追ってた赤い鼻のオッさんも公安だった…！

アイツの仲間か何か…

まさか…蝶野さんが…!?

！

いや…蝶野さんは
タッちゃんを助けてくれた…

「金時計の男」側に
ついているのだって何か
理由があるはず！

龍崎
ちょっと頼みが
あんだケドよ

結子先生の形見の
ネックレス…もっかい
貸してくんねぇか？

え？
いいケド…
何で…

ちょっと気に
なる事があってな

そのネックレスの中に
オレや妹の日菜子…
お前や段野や「まほろば」にいた
他の子供達の情報が入ってた
…ってのは言ったよな？

その中でちょっと
気になる事があってよ…

「早乙女」…？

ああ…オレ達「まほろば」の子供達を診てた医者みたいだな

「まほろば」が一体何の施設だったのか…ソイツに訊けばわかんだろ

筆跡からその「早乙女」って医者を徹底的に洗う

気の遠くなるような作業だが

取材の方が専門なんでねオレは♪

ギャ!!

せいぜい公安の奴らに襲われねぇように気いつけるわ

じゃな

え…？

ぼ…僕も一緒に調べるよ！

休職中で時間あるし…

！

ったく…なんで
こんな気の利かねぇ奴
好きになったんだか

お前にゃ
行かなきゃいけない場所
あんだろ？　龍崎…

お前を誰より
必要としてる女が
いるはずだ

さっさと走れよ
龍崎…！

……姐さん

段野組の若頭から電話です

「姐さんに早急にお伝えしたい事がある」…と

あ？

こっちは食事中だよ
馬鹿野郎！

あ！…あの
スイマセン!!

くだらない用件なら
アッ殺す！

ああ…そういや
段野組に言ったよな？
武器を疎開させろ
ってよ

もっちゃ
もっちゃ

先日のカジノ船に
段野竜哉が乗ってたのが
警察にもしバレてたら…
段野組にガサが入る

念には念を入れて
段野組の持ってる
武器を違う場所に
移すんだよ

わ…
わかってます…
姐さん

-3400-2

そ…それで今
段野組が武器庫にしてる
工場跡に来てるんです…

姐さんの命令通り
武器を隠そうと思って…

報告なんて
いらないよ！
さっさとやんな！

そ…
それが…

あの…

プル
チラッ
プル

な…
無いんです…！

あ？

ないんですよ…
段野組長の銃と弾だけが
ゴッソリと…!!

ドキ

やっぱり…
生きてますよ！
あの人!!

ん？

ないんですよ
段野組長の銃が!!

あの人…
生きてますよ!!

!!

…武器庫の場所を
知ってる人間は
他にいるだろう?

確かに武器庫は
組の人間なら
知ってますが…

段野組長の銃が
保管されてる金庫は
指紋認証システムの
最新式です

本人にしか
開けられない
ハズ…!!

ピッ

段野の奴が…
生きてる？

確かに段野の遺体は
一ヵ月近く経った今も
見つかってない

もしも…

もしもアイツが
生きていたとしたら

ハッ…

段野…

第37話

…美月

母さんの墓参り…次は
一緒に行かないか？

もう一度だけ…

許されるのなら
欲しいんだ

家族三人の
時間が

ダアアン!!

ピ

ピッ

メッセージを再生します

ピー

もしもし…美月か？私だ――…

まぁ…いいや…

このままで…ずっと…

ピンポーン

！

ピンポーン

誰だろ…？

ピンポーン

居留守使うか……

さわさわ

！

ん…

な…！

なな…！

キャアア!!

や

龍崎さん！

何 勝手に
人ん家入って
来てんですか!?

ダメだよー
カギちゃんと
かけなきゃ

余計なお世話です！
てか何しに
来たんですか!!

……

日比野さんが
ちゃんと生きてるか
気になってさ――…

別に！
全然元気ですよ
全然…

よし！ じゃあ
行こっか 日比野さん

へ…行く…って
ドコに…？

楽園（パラダイス）さ♪

……って

楽園（らくえん）なんていうから
どんなトコかと思えば

ファミレスですか…

あ――！
ファミレス馬鹿にすんの
日比野さん!?

いや…
別に…そんな気は
ないですケド…

……

楽しそーに
メニュー見ますねぇ
龍崎さん…

ん？

きゃっ

わく

Dessert

Enjoy thanks

いやー 実は僕
ファミレスのメニュー表
見るの大っ好きで!!

メニュー表を…？

だってスゴくない!?
和食から洋食から
中華からデザートから…

どんなものでも
あるんだよ！
スゴくない？

まさに
楽園（パラダイス）!!

子供の頃はよく
ずっとメニュー見てて
怒られたっけなぁ

！

サーモン
メニュー

怒られた…って
柏葉結子さんに
…ですか？

！

……うん
月に一回だけ
「ファミレスの日」が
あってね…

その日だけは
「好きな食べ物・好きなだけ
食べてもいい」って

「どんなヤな事あっても
美味しいモノ食べればだいたい
チャラになる♪」って…

…
良い人ですね
結子さん…

……
どき
どき
どき
…いいですよ
ボタン押しても…

ぷは――!
んまかった!!

日比野さんが
あんな大食いだとは
思わなかったよ!

パフェまで
ペロって!

…実はここ2日くらい
何も食べてなくて…

2日!?
ホントに!?

僕だったら
間違いなく
死ぬ！ソレ！

？
どしたの？
日比野さん

……

…お父さんなんです

私の名前…つけたの…

！

私が生まれた時も今みたいな満月の夜で

その夜の月が今まで見たこともないくらい綺麗で

私も出会っていく人達にそう思われるように「美月」…って…

！

龍崎さん

私…
辞めます

CHEER

警察官

……

え？

なん…

なんで？

辞めるって

なんで…

もう警察官を続ける意味が

なくなったんです

私…わかっちゃった

んです

今までの自分は

自分の意思でここに

いるんじゃないって

父に私の方を

見てほしかっただけなんです

それだけだったんです

そのためだけに私は

警察官に…

ずっと
ウソだったんです

今までの私は

もう父は
いない

ウソの私は
終わり…

日比野さんが
警察を辞めたいのなら
…辞めればいいと思う
でも

！

今までの…刑事だった
日比野さんがウソだなんて
…そんなの違うよ

みんな…
そんなもんじゃ
ないのかなぁ…？

そうやって
誰かに認めてもらう
ために生きたり…
誰かに流されて
みたり…

僕だって…最初に
警察官になった理由は
結子先生の仇を討つため…
復讐のためだけだったケド…

今はもう
それだけじゃない

いろんな事件があって

いろんな人と出会って

いつしか…嫌いだった警察官という生き方が好きになった

…何より僕にそう思わせてくれたのは

日比野さんなんだよ？

！

ほら！

早く行きますよ
龍崎さんっ！

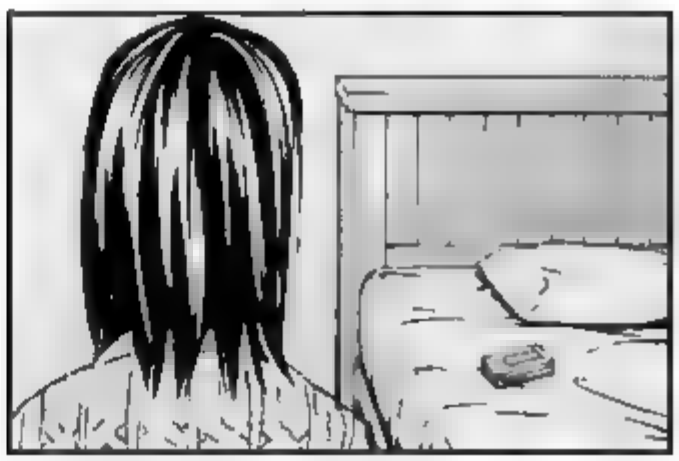
日比野さんの事が
好きだ

この気持ちは

ウソなんかじゃ
…ない

私の事を…
龍崎さんが…

ピンポーン



ピッ
もしもし…
美月か？
私だ
犯人は一緒か？
今どこにいる？
犯人について
何かわかったら…
お父さん…
お前は刑事だ…
落ち着いて行動をしなさい
警察官のお前なら
出来るはずだ…美月
今までの…
刑事だった日比野さんが
ウソだなんて…
そんなの
違うよ

私は…やっぱり…

警察官を…

え…？

あの…失礼ですが

小児外科長の

海藤先生でしょうか？

……

どちら様ぁ？

突然

すみません

私 フリーで
医療ジャーナリストを
やっている鈴木という
者です

小児医療の現在と未来を
取材していまして…
ぜひ小児医療の権威である
海藤先生にお話をと…

龍崎と別行動を
とってから
もう一ヵ月近く

オレは
身分を偽りながら
情報を集めていた

それではまた
後日 連絡させて
いただきますので…

まぁ…
時間がないので
手短にねぇ…

あ
そういえば
海藤先生

ひとつおたずね
したいのですが…

このサイン…
見覚えありますか？

！

?

さぁ…
知らないねぇ
誰？

いえいえ…タダの
人探しでして…

「サオトメ」

「まほろば」の情報（データ）に
残っていた
医者と思われる
人間の直筆のサイン

20年近く前に
書かれた
そのサインだけを
ヒントに

医者という医者に
片っぱしから聞き込みを
して回った

早乙女って医者を
探している事が
バレないよう
あくまでさりげなく
…って感じで

「サオトメ」なんて
わりと珍しい名前だし
すぐ見つかったりして！
と思ったケド…

そう簡単に見つかるほど
甘くねぇか…何しろ
昔のサインだし…

しかし…
医者っつー生き物は
どーしてこう金が
かかんのかね…？

もぐ!!

接待費だけで
出費がハンパないぜ
ちくしょう…！

また闇金に
借金が…!!

一週間連続
ファーストフード…

あぐっ

ピルルルル
ルルルルル

あ
もしもし

あー
鈴木さん？

先日はドーモ
武蔵野坂病院の
海藤だけどもね

あぁ…先日は
お忙しいところ…

……え？

マジスか？

いや
思い出したよ
この前 君に訊かれた
「サオトメ」ってサインの
…そうそう

あのサイン…
日本病理総会の元会員の
早乙女哲郎(てつろう)医師のサインじゃ
ないかと思ってね

新聞図書資料室

カタカタカタ
カタカタカタ…

カチッ

この男が…探していた
早乙女医師…

る
外科医の権威・早乙女哲郎医師は、
およぶ手術を手がけ、医療関係者か
と称賛されている。

早乙女 哲郎 医師

をくので、にかどにら
器
り い

普通なら10時間を越える難手術も
持つ男・早乙女哲郎医師の手にか
患者のダメージは大幅に軽減され
れ
も

天才的な技術を持つ名医！

国内最高レベル　早乙女哲郎医師は

東南アジア方面 医療支援

最高の移植医

……

移植医…

僕も直接は
面識はないが

大変優秀な
外科医だった
らしいよぉ

…だったぁ

突然勤務していた
病院を退職

そして
突然の失踪

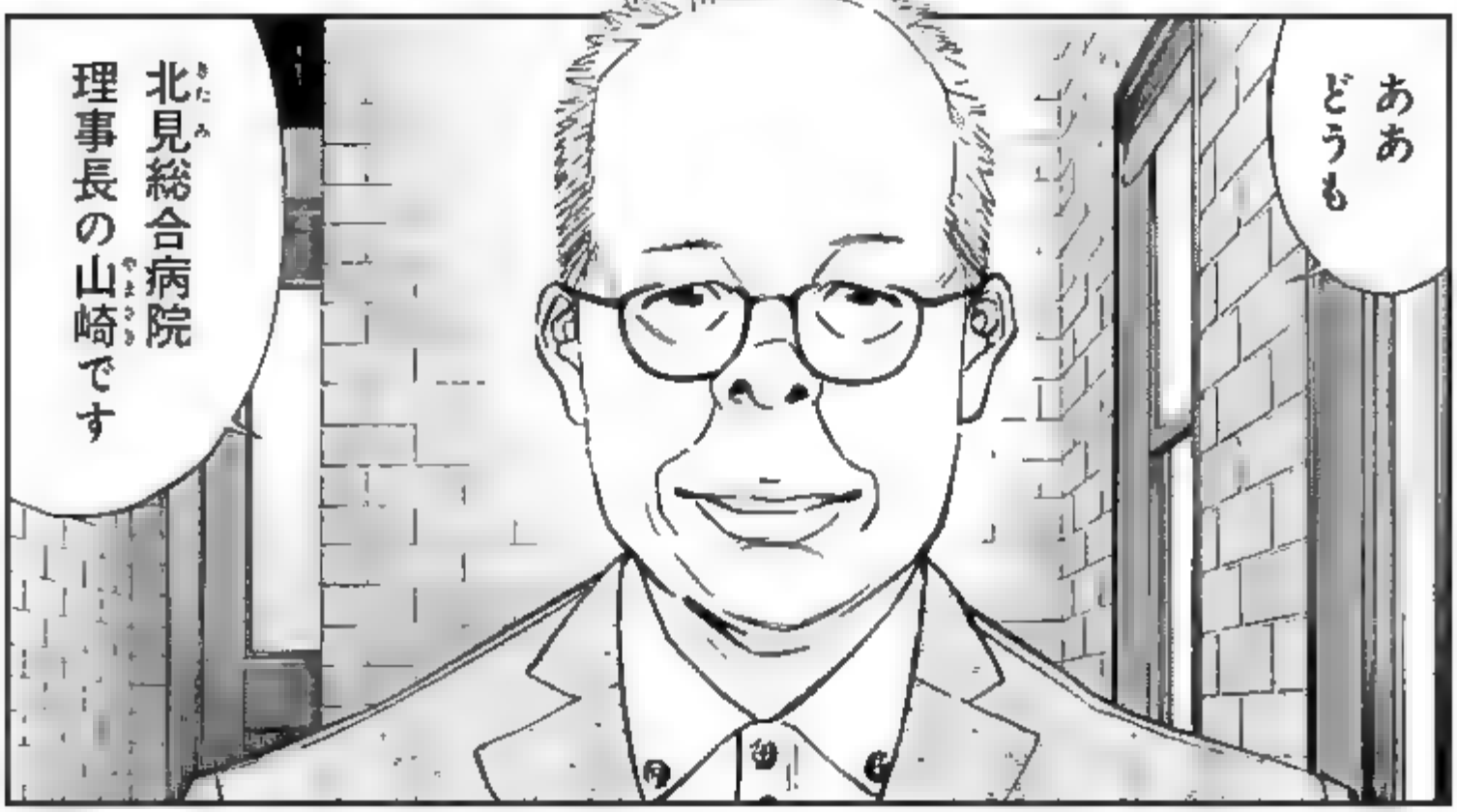
僕も詳しくは
知らないんだ
けどねぇ…

そして

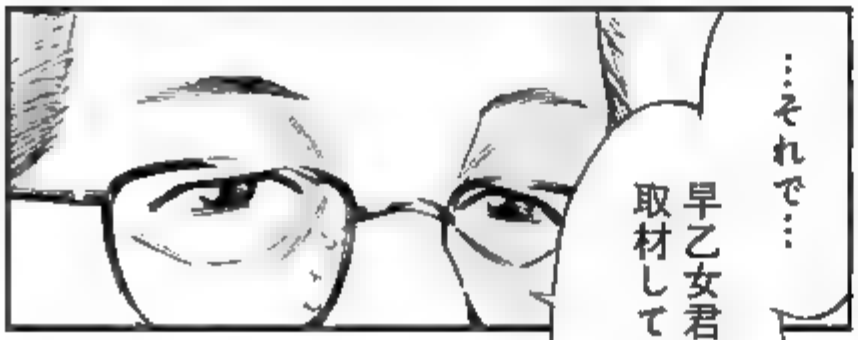
突然の死

……死んだ？

当時 早乙女医師と
同じ病院に勤めていた
医師の知り合いがいる
詳しい話は彼に
聞くといいよぉ
OPEN


ああ
どうも
北見総合病院
理事長の山崎です

わざわざ時間を
作っていただき
ありがとうございます
いえいえ
理事長といっても
気ままな隠居生活でして
ほほっ


…それで…

早乙女君の事を
取材している…とか
ええ…20年前の
過去の新聞ですが
経歴を拝見しまして

慶楼(けいろう)大学医学部を
優秀な成績で卒業

関西総大や横浜南大学院など
さまざまな病院を渡り歩き
手術の腕を磨き

移植医としての技術を伝えるため
東南アジアや中東にも渡航経験を
持つ一流の外科医師…と

……ふむ

一つだけ間違いが
ありますなぁ…
彼は一流じゃない

超・一・流です

国内の外科医では
トップクラス

「神の手」と
呼ばれるほどに

繊細かつ大胆…
正確無比なメスさばき

切磋(せっさ)もさる事ながら
天性の才能でしょうなぁ

…どういう事だ…？

わからねぇ…
そんな優秀な医師が
なぜ「まほろば」の
関係者に…!?

「金時計の男」と一緒に
一体何をしていた…!?

トクン
トクン

……いや…
本当は…
わかってる…

さっきから
感じる…
この…胸が
ザワつく理由…

終章

ずっと…

ずっと引っかかってる
言葉…

山崎さん

伺いたいのは
早乙女医師の
その後の失踪…
そして彼の
死の理由

一体 彼に何が？

……

さぁね

！

君…ジャーナリスト
なんだろう？
情報は君らにとって
宝物に等しい

それを私に無償で
差し出せと？ ん？

さすがにちょっと
非常識すぎや
しないかな？

はっはっはっ

……

医療ジャーナリストなんて
ご立派な肩書で礼儀知らずでは
よろしくないからね

手土産でも持って
出直してきなさいよ

ガタッ

…手土産…

それなりのモノを
用意してね…

くるっ

…それなりのモノ…ねぇ

どんなモノか
私には見当も
つきませんが…

たとえば
こんなのとか？

!!

なあっ!?

ところで貴方が
理事やってる病院って
婿養子で入られたん
ですよね？

看護師の娘と
こぉんな関係なのを
ご夫人に知られたら
どうなります？

な…な…

い…いつの間に
そんな写真…

スイマセンね
ここ一週間ほど尾行
させていただきまして

権力持った人間ほど
えてしてこういう
アキレス腱があるもんだ

相手の弱み探るのは
交渉術の初歩中の初歩
ですんで

!!…

き…貴様ぁ！
それでもジャーナリスト…

ああ…

!!ﾐﾆﾐﾆ…

ソレ嘘っス

実は私 こぉんな
下世話な仕事が
専門でして

医療マンガなら
ケッコー好きっスよ

!!
・・・

とりあえず
座ればぁ？
つーか座れ
ホレ

う…ぐぐ…

な…何者だ
貴様…!?

一体
何の目的…

ふう

質問してんのは
コッチだっ
つーの

全部喋って
もらうぜ

早乙女医師の事
…いろいろとな

彼の失踪と死ぬまでに…一体何があった？

…私もそんな事知らない…

オイオ――イこの写真ネットにバラまいても…

ぴら

ぴら

ホ…ホントだ！ホントに私は知らないんだ！

もう…20年くらい前の話だ…

早乙女は…アイツは当時私達が勤務していた病院を辞めた

突然辞表を出して急にな

同僚の我々には何も理由を語らず

ただ一言

「自分は病院（ここ）にいる資格がない」

…と…

それから数年後…
早乙女は発見された

噂では別人のように
痩せ細った容姿に
変わり果て…

ビルから飛び降り自殺をした
遺体となって…

……はあ？

それじゃ全然わかんねぇよ！

なんで失踪したんだよ!?

自殺!?
なんで!?

わ…私が知るか！

私が知っている事は一つだけだ…

早乙女には
一人娘がいたって…

心臓移植が必要な
重い病気を持った…

!?

ouroboros

Next issue will be ———

Comic Art
Kanzaki Yuya

Assistant Regular&Help
Fujita Rikiya

Yoshida Rie

Yoshida Yasuhiko

Kinoshita Shinnosuke

龍…

よかった…

続けた答えは

probros

真実の第⑲巻　今冬発売予定!!

次巻予告

対峙する二匹の

17年間、探し

意外な場所で再会を果たすイクオと竜哉!!
父親を殺した犯人に行き着いた美月。那智がたどりつく「まほろば」の正体!
次々と明らかになる真実…そして、最大の闇「金時計の男」が動き出す…!!

この作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信すること、内容を無断で改変・改竄することを禁止します。また、有償・無償にかかわらず第三者に譲渡することはできません。

この作品は二〇一四年八月新潮社より刊行された。

電子書籍化に際し、仕様上の都合により適宜編集を加えた。

ウロボロス―警察ヲ裁クハ我ニアリ 18巻

発行　2014年8月9日
著者　神崎裕也
発行者　佐藤隆信
発行所　株式会社新潮社
〒162―8711
東京都新宿区矢来町71
URL：http://www.shinchosha.co.jp

(C) Yuya Kanzaki 2009